まちの話題

高原に咲くラベンダーを楽しむ

7月12日と13日の2日間にわたって、恒例のラベンダーフェスティバルが別宮のハイパーボウル東鉢スキー場内のラベンダーガーデンで開催され、約600人が会場を訪れました。

このイベントは、夏山の新たな魅力を創り地域活性化を図ることを目的に、地元住民の皆さんらが運営する東鉢伏高原体験村の主催で行われたものです。約7千平方メートルのラベンダーガーデンには、約8千株のラベンダーが咲き、一帯はすがすがしい香りに包まれていました。

来場者は、ラベンダーの摘み取りのほか、ラベンダーを編み込んで作るラベンダースティック教室やラベンダーティーの試飲などを楽しみました。

ラベンダーの摘み取りを楽しむ参加者

明石市と「ふるさとの味」で交流

交流協定を締結している明石市との交流事業「ふるさとの味交流会～食でつなぐ うみとやま～」が7月14日、明石市立保健センターで行われ、両市の食生活改善グループ「いずみ会」の皆さんが海と山の食材を使った料理を互いに紹介し、交流を深めました。

この日は、養父市いずみ会の会員13人が参加し、すずこ（ネマガリタケのタケノコ）の天ぷらとヤマメの山椒味噌ホイル焼きを紹介。明石市のいずみ会からは15人が参加し、タコ飯やあなごを使った料理を紹介しました。

最後に、お互いの料理レシピを交換し、食卓を飾った海と山の料理に舌鼓を打ちながら、意見交換やお互いの活動を紹介するなど交流を深めました。

ヤマメ料理など養父市の特産料理を作る養父市いずみ会の会員

にぎわった八鹿夏まつり

7月19日、20日の2日間にわたり、八鹿夏まつりが市役所駐車場などを会場に開催されました。

20日の午前中には、八鹿の街中をみこしやだんじりが練り歩き、夏祭りが本格的にスタート。その後、恒例の八鹿踊りやＹＯＳＡＫＯＩ（よさこい）フェスティバル、八鹿踊りなどが行われ、一気に祭りの雰囲気を盛り上げました。

街中に露店が並ぶと、多くの家族連れや子ども達が行き交い、午後8時からはメインイベントの花火大会がスタート。今年の花火大会では、例年の還暦花火に加え、出産や結婚、子どもの入学など祝い事を記念した花火を含めた計1700発が打ち上げられました。

祭りを盛り上げた八鹿踊り（提供写真）